



合志市の元気な子どもたち (子どもフェスティバル)

合志市 議会だより 第31号

2013年9月定例会

きすな

主な内容

決算認定

前年度に比べて歳入0.9%増加、
歳出5.6%増加

一般会計補正予算可決

整備工事可決

防災行政無線が新しくなります

追跡 あん質問はどぎゃんなった

議会インターネット中継開始!!
市のホームページよりご覧いただけます

平成25年第4回定例会日程

お知らせ

今回の定例会は12月2日(予定)からの開催となります。
ぜひ、傍聴においでください。

月	日	曜	会議名	主な内容
12	2	月	本会議	市長提出議案上程及び説明
	6	金	本会議	質疑、委員会付託
	9	月	常任委員会	付託事件の審査
	10	火		
	12	木	本会議	一般質問
	13	金		
	16	月		
	18	水	本会議	委員会報告 (質疑、討論、表決) 議員提出議案 (上程、質疑、討論、表決)

※日程は、変更になる場合があります。

表紙のはなし



10月20日、ウィーブル全館を使って「子どもフェスティバル」が開催されました。子ども約1,800人、大人約600人の来場があり、たいへん賑わいました。

合志町 高千穂神楽の 歴史



後継者育成風景

竹迫日吉神社の合志町高千穂神楽は、

宮崎県高千穂に発祥した神楽を明治21年(1888年)に日吉神社氏子の有志によって現地で研さんを重ねて伝承したと伝えられています。しかし、第三代の上島弘さんの説によると、初代の坂本卯一さん他6人が伝授したのは泗水町永の神社の神楽であり、住吉にある住吉日吉神社の神楽も同じ神楽であるということです。現在、宮崎県西臼杵郡高千穂地方で行われている神楽は、仮面をつけて一晩中踊り明かす夜神楽で日吉神社の神楽とは趣を異にしています。

今の神楽は昭和52年(1977年)に地元上庄区の後援を受け、合志町高千穂神楽保存会を組織し、第五代に引き継がれました。昭和53年(1978年)3月に合志町文化財の指定を受け、昭和55年(1980年)には熊本県第六回ふるさと顕彰の栄誉を浴するなど高く評価されました。

現在は、百年を超えるこの郷土芸能を絶やさない、日々厳しい練習を積み、平成8年(1996年)に上庄区民の支援を受け区の若者12人(当時21歳～31歳)が第六代を

継承しました。平成20年(2009年)からは、上庄子ども会と連携し小学生を対象に、子ども神楽教室を実施し、後継者育成にも取り組んでいます。

(市のホームページより)



上庄城山まつり

議会広報調査 特別委員会

委員長 島田 敏春
副委員長 今村 直登
委員 上田 欣也
委員 後藤 修一
委員 松本 龍一
委員 西島 隆博

いつまでも暑い日が続いていたので、やっと秋が来たという気候になりました。異常気象と一言で片づけてしまえないような災害も起きています。

合志市は、大きな河川もなく急傾斜地も少ないので、災害とはあまり縁がないような気がしますが、地震や台風は時と場所を選ばず、いつ来ても不思議はありません。東洋英和女学院大学学長の村上陽一郎さんは、「安全と安心はよくセットで議論されるが、全く異なる概念である。安全はリスクと対になるが、安心の反対語は不安であり、為政者としては、人々の不安にどれだけ応答できるか、という全く次元の異なる政治的な課題も抱えることになる」と書かれています。

議会は行政のチェックと同時に、市民の不安をやわらげるために知恵を絞る機関でもあるべきでしょう。

編集後記



合志市議会だより きすな
No.31 2013年11月21日

〒861-1195 熊本県合志市竹迫2140
TEL (096) 248-2038 URL www.city.koshi.lg.jp/
発行/合志市議会 編集/議会広報調査特別委員会